

- ▶ 鳥栖市では、森林所有者の高齢化や相続に伴う代替わりによる共有名義森林、共有者不明森林が増加するなど権利関係が複雑化し、適切な森林管理がなされておらず森林の荒廃が進んでいる。このため、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づく取組を進め、森林所有者の探索、意向確認を進め森林整備を推進する方針。
- ▶ 令和3年度においては、・・・
 - ・ 令和2年度に作成した森林施業の優先順位に従い、第7林班を対象に意向調査を行った。林地所有者73件のうち所有者を把握できた59件、112.69haについて調査を行い、38件、64.89haについて「市に管理を希望する」と回答を頂いた。令和4年度においては、回答を頂いた山林について、収益が上がる山林か、収益が上がらないならば切捨間伐可能な山林かの判断を行い、切捨間伐が実施可能な山林の所有者に対し説明会を実施した後に協定を結び、森林施業に繋げていく。

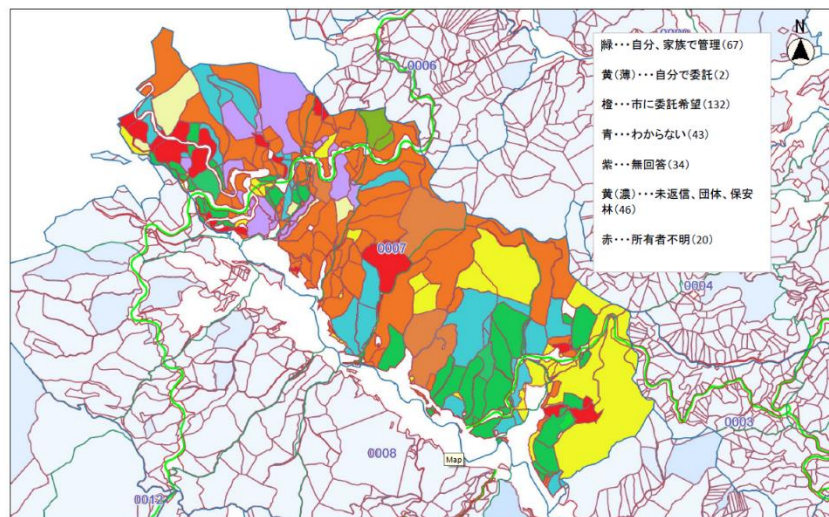
□ 事業内容

1 第7林班の森林所有者への意向調査の実施

意向調査を実施し、「市に管理を希望する」か の意思確認を行った。

【事業費】2,479千円（全額譲与税）

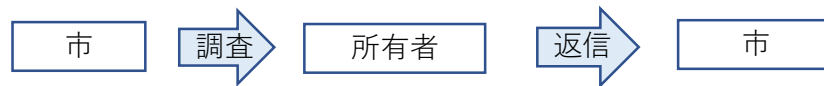
【実績】送付数 59通 内返信58通、未返信1通、
管理委託対象山林64.89ha ※下記図中の橙色が対象



意向調査後の第7林班の「市に管理を希望する」対象森林

□ 事業スキーム

1 第7林班の森林所有者への意向調査の実施



□ 工夫・留意した点

- ・ 森林施業の優先順位を作成するにあたって、所有者が把握できている森林が広い面積で固まっている箇所について加点を行う方法を採用し順位付けを行っているため、第7林班は高い回答率が得られた。

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	8,423千円
②私有林人工林面積（※1）	629.16ha
③林野率（※2）	32.3%
④人口（※3）	74,196人
⑤林業就業者数（※4）	8人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より

※3：「H27年国勢調査」より